授業科目	看護学概論	開講 1年生	1単位	30時間	講師：富田 可子	
授業概要	看護の基本となる概念を理解し、看護の位置づけと看護の果たす役割を理解する。					
時間	事前学習	授業計画・授業内容			授業方法	事後学習
2	授業内容確認	専門分野ガイダンス 看護学概論概要			講義	看護の構築・授業概要を整理する。
4 6 8 10		1. 看護とは 1) 社会の変化と看護の変遷 2) 看護理論家と看護概念 F.ナイチンゲール V.ヘンダーソン 3) 看護の役割と機能			講義 ビデオ	看護の歴史を整理する。 「看護覚え書き・看護の基本となるもの」主要部分を整理する。
12 14	人間とは	2. 看護の対象 1) 人間の「こころ」と「からだ」 2) 人間の「成長」と「発達」 3) 人間の「暮らし」			講義	人間について、整理する。
16 18	自分の健康観	3. 健康とは 1) 健康とは 2) 人々の健康状態 3) 健康と看護			講義	健康について、整理する。
20 22	「1.看護とは」	4. 看護の提供者 1) 職業としての看護 2) 看護教育とキャリア 3) 臨地実習			講義	授業内容を整理する。
24 26 28	「4.看護の提供者」	5. 看護倫理 1) 看護倫理とは 2) 看護者の倫理綱領 3) 事例検討			講義 GW	職業倫理・看護倫理について整理する。
30		試験・解説				
評価方法	筆記試験 課題レポート 学習態度					
テキスト	系統看護学講座 基礎看護学1 看護学概論 医学書院					
参考図書	F.ナイチンゲール 看護覚え書き 現代社 V.ヘンダーソン 看護の基本となるもの 日本看護協会出版会 よくわかる看護者の倫理綱領 照林社 看護学生が身につけたい論理的に書く・読むスキル 医学書院					
備考						

授業科目	基礎看護技術論 I - 1	開講	1 年生	1 単位	30 時間
授業概要	看護技術の概念を理解し、看護を実践する上で基盤となる共通の技術について習得する。				
時間	事前学習	授業計画・授業内容		授業方法	事後学習 担当講師
「コミュニケーション」					
2 4 6		コミュニケーションの定義、構成要素、手段 コミュニケーションに影響する諸条件 看護場面におけるコミュニケーション		講義 GW	扇原五百恵
「安全」					
8 10 12 14		感染防止の基礎知識 標準予防策（スタンダード・プリコーション） 洗浄・消毒・滅菌、無菌操作 感染性廃棄物の取り扱い 手洗い・ガウンテクニック・無菌操作の実際		講義 演習 GW	富田 可子
「教育指導」					
16 18 20 22		看護における教育活動の意義 患者教育の目標 教育活動の場 効果的な指導技術 指導の形態 指導的活動に使用する教材と媒体 指導のプロセス（基本的な進め方） 指導計画書の立案 個人を対象とする指導的活動の実際		講義 演習 GW	鈴木 清佳
「記録・報告」					
24 26 28		記録の意義と目的 医療における記録の種類と目的 看護における記録の種類と目的 記録の種類と注意事項、記録の方法・管理 報告の意義・目的・種類、良い報告の条件		講義 演習 GW	門平 絵里
30		試験・まとめ			
評価方法	筆記試験 課題レポート 学習態度				
テキスト	系統看護学講座 基礎看護学 2 基礎看護技術 I 医学書院 系統看護学講座 基礎看護学 3 基礎看護技術 II 医学書院 看護技術がみえる vol. 1 基礎看護技術 メディックメディア 看護技術がみえる vol. 2 臨床看護技術 メディックメディア				
参考図書					
備考					

授業科目	基礎看護技術論 I - 2	開講	1 年生	1 単位	30 時間	
授業概要	看護技術の概念を理解し、看護を実践する上で基盤となる共通の技術について習得する。					
時間	事前学習	授業計画・授業内容		授業方法	事後学習	担当講師
「観察（呼吸・循環・体温）」						
2 4 6 8		情報収集と観察の意義・留意点 情報収集と観察の実際 呼吸・循環・体温の意義と看護の役割		講義 GW		林 宏美
10 12 14 16 18		観察技術の実際 バイタルサインに必要な器具の取り扱いと留意点について 呼吸・循環・体温の観察における原理・原則 演習を通し、測定技術の基本の習得		講義 演習		
20 22		呼吸・循環・体温の援助 呼吸・循環・体温の異常と基本的援助 動脈血酸素飽和度測定		講義 演習		
		技術演習（モデル人形・シミュレーター） 技術テスト（バイタルサイン測定）				
「フィジカルアセスメント基礎」						
24 26 28		フィジカルアセスメントの意義 フィジカルアセスメントの基本（シミュレーター） 聴診技術（呼吸音、心拍測定、腸蠕動音） フィジカルアセスメントの留意点		講義 演習		宮下 遥奈
30		試験・まとめ				
評価方法	筆記試験 課題レポート 学習態度					
テキスト	系統看護学講座 基礎看護学 2 基礎看護技術 I 医学書院 系統看護学講座 基礎看護学 3 基礎看護技術 II 医学書院 看護技術がみえる vol. 1 基礎看護技術 メディックメディア 看護技術がみえる vol. 2 臨床看護技術 メディックメディア 看護技術がみえる vol. 3 フィジカルアセスメント メディックメディア					
参考図書						
備考						

授業科目	基礎看護技術論Ⅱ-1	開講	1年生	1単位	30時間
授業概要	あらゆる健康レベルにある対象の日常生活行動の援助に対応できる基礎的援助技術を習得する。				
時間	事前学習	授業計画・授業内容		授業方法	事後学習 担当講師
「環境の調整」					
2 4 6 8 10 12 14 16 18		環境の調整の意義 快適な病室の環境条件 病室の環境調整 ベッドメイキング 技術テスト 臥床患者のシーツ交換 環境整備		講義 演習 GW	鈴木 清佳
「活動と休息」					
20 22 24 26 28		活動と休息の意義 基本的活動の援助 活動への援助 健康障害時の活動 睡眠への援助		講義 演習	門平 絵里
30		試験・まとめ			
評価方法	筆記試験 課題レポート 学習態度				
テキスト	系統看護学講座 基礎看護学2 基礎看護技術Ⅰ 医学書院 系統看護学講座 基礎看護学3 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 看護技術がみえる vol.1 基礎看護技術 メディックメディア 看護技術がみえる vol.2 臨床看護技術 メディックメディア				
参考図書					
備考					

授業科目	基礎看護技術論Ⅱ－2	開講 1年生	1単位	30時間	
授業概要	あらゆる健康レベルにある対象の日常生活行動の援助に対応できる基礎的援助技術を習得する。				
時間	事前学習	授業計画・授業内容	授業方法	事後学習	担当講師
「皮膚・粘膜の保全」					
2		清潔の意義と援助の目的	講義 演習		鈴木 清佳
4		援助の対象・方法の選択 (モデル人形、シュミレーター)			
6		清潔の援助におけるアセスメント			
8		全身清拭・寝衣交換			
10		手足浴・洗髪			
12		口腔ケア			
14		陰部洗浄・おむつ交換			
16		整容			
18		衣生活			
20		技術試験			
22					
24					
26					
28					
30		試験・解説			
評価方法	筆記試験 技術試験 課題レポート 学習態度				
テキスト	系統看護学講座 基礎看護学2 基礎看護技術Ⅰ 医学書院 系統看護学講座 基礎看護学3 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 看護技術がみえる vol.1 基礎看護技術 メディックメディア 看護技術がみえる vol.2 臨床看護技術 メディックメディア				
参考図書					
備考					

授業科目	基礎看護技術論Ⅱ－3		開講 1年生	1単位	30時間
授業概要	あらゆる健康レベルにある対象の日常生活行動の援助に対応できる基礎的援助技術を習得する。				
時間	事前学習	授業計画・授業内容	授業方法	事後学習	担当講師
「排泄」					
2 4 6 8 10		排泄の意義とメカニズム 排泄の援助に必要なアセスメントの視点および観察項目 自然排泄を促す援助方法 特殊な場合の援助方法 排泄の援助を受ける対象の心理	講義 演習		坂本 萌子
「栄養・代謝」					
12 14 16 18 20 22		食事援助における看護師の役割 食事・栄養摂取の意義としくみ 食事・栄養摂取のアセスメント 患者への食事の援助（誤嚥の危険性のある対象への看護） 経口摂取できる患者の食事介助の実際	講義 演習		坂本 萌子
「罨法」					
24 26 28		罨法の意義と援助の目的 罨法の種類 罨法の援助の対象・方法の選択	講義 演習		門平 絵里
30		試験・まとめ			
評価方法	筆記試験 課題レポート 学習態度				
テキスト	系統看護学講座 基礎看護学2 基礎看護技術Ⅰ 医学書院 系統看護学講座 基礎看護学3 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 看護技術がみえる vol.1 基礎看護技術 メディックメディア 看護技術がみえる vol.2 臨床看護技術 メディックメディア				
参考図書					
備考					

授業科目	基礎看護技術論Ⅲ	開講	1年生	1単位	30時間
授業概要	健康障害をもつ対象の診察に伴って実施する採血・与薬の技術および死の看取りの援助を理解する。				
時間	事前学習	授業計画・授業内容		授業方法	事後学習 担当講師
「治療・検査に伴う援助（採血・与薬）」					
2 4 6		検査の意義 検査時の基礎知識 検査を受ける対象の特徴 検査における看護師の役割 検査に関する観察の視点	講義		宮下 遥奈
8 10		検査時の援助の方法 静脈採血の実際（モデル人形・シミュレーター）	演習		
12 14		薬物療法とは 薬物療法に関する基礎知識 与薬における看護の役割	講義		
18 20 22 22		与薬の種類と方法 注射法（静脈注射・筋肉注射・皮下注射） （シミュレーター）	演習		
「看取りに伴う援助」					
24 26 28		死についての理解 死に向かう人々の理解 看取りの理解 死後の処置（モデル人形・シミュレーター）	講義 演習		上林 清香
30		試験・解説			
評価方法	筆記試験 課題レポート 学習態度				
テキスト	系統看護学講座 基礎看護学2 基礎看護技術Ⅰ 医学書院 系統看護学講座 基礎看護学3 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 看護技術がみえる vol.1 基礎看護技術 メディックメディア 看護技術がみえる vol.2 臨床看護技術 メディックメディア				
参考図書					
備考					

授業科目	基礎看護技術論Ⅳ	開講 1年生	1単位	30時間	講師：鈴木 清佳
授業概要	松木理論を活用して看護過程の概念を理解し、看護を科学的に施行し実践するために必要な展開技術を習得する。紙上患者を用いて、松木の生活行動様式による看護過程を理解する。				
時間	事前学習	授業計画・授業内容		授業方法	事後学習
2 4	基礎Ⅰ準備 学習の復習	1. 看護過程の基になる考え方と理論 2. 松木光子「生活統合体モデル」について 3. 看護過程の展開方法 5つの構成要素		講義	
6 8	病態生理・看護	4. 事例を用いた看護過程の展開 大腿骨頸部骨折事例 ①アセスメント 情報収集・分類・整理		講義 GW	
10 12 14 16	情報の分析	②情報の分析（情報の解釈・判断・推論）		講義 GW	中間テスト
18 20 22	関連図	③問題の明確化、関連図		講義 GW	
24 26 28	看護計画の 立案	④看護計画		講義 GW	
30		試験・解説			
評価方法		筆記試験 課題提出状況 学習態度			
テキスト		系統看護学講座 基礎看護学Ⅱ 基礎看護技術Ⅰ 医学書院 系統看護学講座 基礎看護学Ⅲ 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 看護技術がみえる vol.4 看護過程の展開 メディックメディア 系統看護学講座 成人看護Ⅹ 運動器 看護実践のための根拠がわかる老年看護技術 メヂカルフレンド社 プリント（参考資料を配付）			
参考図書		JJN ブックス ケーススタディ 看護過程 医学書院			
備考		個人ワーク・グループワーク・解説を繰り返し、事例展開を行う。			

授業科目	臨床看護総論	開講 2年生	1単位	30時間
授業概要	対象をフィジカルに観察できる技術と臨床で看護師が実施する治療処置技術の習得ができる。			
時間	事前学習	授業計画・授業内容	授業方法	事後学習 担当講師
「フィジカルアセスメント」				
2 4	解剖生理 プリント	1. フィジカルアセスメント 2. 呼吸音、心音の聴取 3. 技術演習	講義 演習	金子仁久
「創傷処置を必要とする患者の看護」				
6 8		4. 創傷処置 5. 褥瘡ケア	講義	柏木雅美
「排泄障害のある患者の看護」				
10 12		6. 浣腸 7. 導尿 8. 膀胱留置カテーテル挿入中の看護 9. 技術演習		山中美希
「輸液・輸血療法を必要とする患者の看護」				
14 16 18		10. 点滴静脈内注射 11. 中心静脈栄養の管理 12. 輸血時の看護 13. 輸液ポンプ 14. 輸注ポンプ		島崎真由美
「食べるのが障害されている患者の看護」				
20 22 24		15. 経管栄養 16. 胃瘻管理 17. 胃管挿入 18. 技術演習		大山浩子
「呼吸障害をもつ患者の看護」				
26 28		19. 胎位ドレナージ 20. 吸引（技術演習） 21. 酸素療法 22. 低圧持続吸引器		大谷聰子
30		試験・まとめ		
評価方法	筆記試験 課題レポート 学習課題			
テキスト	系統看護学講座 基礎看護学2 基礎看護技術I 医学書院 系統看護学講座 基礎看護学3 基礎看護技術II 医学書院 看護技術がみえる vol.1 基礎看護技術 メディックメディア 看護技術がみえる vol.2 臨床看護技術 メディックメディア 看護技術がみえる vol.3 フィジカルアセスメント メディックメディア			
参考図書				
備考				

授業科目	看護研究 I	開講 2年生	1単位	30時間	講師：千葉今日子	
授業概要	看護における研究の意義を理解し、研究に関する基礎知識を身につける。また、研究に必要な文献を活用し、論文作成の方法を学ぶ。さらに研究を通して、科学的思考と問題解決能力を養う。					
時間	事前学習	授業計画・授業内容			授業方法	事後学習
2 4 6	看護研究 に対する興 味や関心 を持ち授業 に取り組むこ と	1. 看護研究における研究の意義 看護研究とは何か？ 2. 研究課題の明確化 グループで検索キーワードを決定 3. 研究論文の構成 *文献検索をする前に！ 1) 研究計画書の構成 題名（テーマ）、はじめに、研究目的、用語の操作的定義 研究方法、倫理的配慮 2) 抄録の構成（研究発表の抄録の作成ポイント） 4. 文献検討 1) 文献検索の方法（演習） *医学中央雑誌による検索について 抄録の見方 2) 文献リストの作成（文献の生理：マトリックス方式） 5. 学会発表の抄録の作成ポイント 6. 研究論文の構成と作成の留意点			講義 演習 文献 検索	・各自の研究に 対する疑問を 明確化してみ る。 ・各自の関心テ ーマに沿って、 文献検索を実 施してみる。 ・マトリックス 方式によって 文献整理をし てみる。
8 10 12	研究デザ インとは何 か、研究の 考え方につ いて、事例 研究の方法 と関連付け て、授業に 取り組む	1. 研究デザイン（研究の設計と方法の選択） 研究デザインの選択 (1)量的研究 (2)質的研究 2. 事例研究 3. 質的研究の考え方 1) データの収集方法と分析 インタビュー、自由記述式質問紙調査 2) データの分析方法：内容分析、KJ法によるデータの分析 4. 量的データ分析の実際（KJ法）－演習			講義 演習	・研究デザイン とは、質的研究 としてのじれ いけんとうに ついて、授業資 料で確認する こと。 ・KJ法に関す る研究文献を 読んでみる。
14 16 18 20	量的研究 について、 予習をし、 授業に参加 する。	1. 量的データ分析の実際（KJ法）－演習と発表 2. 研究デザイン（量的研究）の考え方 3. 概念枠組み 1)概念枠組みの考え方 2)変数とは、仮説とは 目的変数と説明変数（文献、経験、ブレインストーミング） 4. 研究におけるデータ 1)データの収集方法と分析 量的記述式質問紙調査（アンケート調査）、質問紙の作成 2)データ分析方法の考え方 記述統計、②変量解析、多変量解析			講義 演習 発表	・質的研究とし ての手法（内容 分析、KJ法） について、復習 すること ・量的研究の考 え方、質問紙調 査の方法につ いて、復習す ること
22 24 26	研究の論 理的配慮に 関心を持つ	1. 看護研究における倫理的配慮 2. 文献クリティークの考え方と実際－演習			講義 演習 発表	・研究の倫理考 え方について 復習すること
28 30		看護研究 I のまとめ 試験と解説			試験	
評価方法	筆記試験 学習態度					
テキスト	系統看護学講座 看護研究 医学書院					
参考図書	黒田裕子の看護研究 step by step 学習研究社 他、授業中に適宜紹介					
備考						

授業科目	看護研究Ⅱ	開講 3年生	1単位	15時間	講師：扇原五百恵
授業概要	より良い看護実践を旨とした看護研究の意義を理解し、事例研究の一連の過程を体験する中で研究方法を身につける。さらに自己の看護観を明確にする。				
時間	事前学習	授業計画・授業内容		授業方法	事後学習
2 4 6 8	※1	学内での看護研究発表会（2日間） ・クラスで協力し、看護研究発表会を運営する。 1日目 1. 発表および講評			
10 12 14 15		2日目 1. 発表および講評 2. 全体のまとめ（教員・学生）			※2
		埼玉県看護学生研究発表会に参加			
評価方法	学習態度や論文作成及び発表の過程を「看護研究評価表」で評価する。				
テキスト	プリント				
参考図書	黒田裕子の看護研究 step by step 学習研究社 わかりやすいケーススタディの進め方 照林社 看護学生のためのケーススタディの手引き 日総研 看護学生のためのケーススタディ メヂカルフレンド社				
備考	※1. 受け持ち患者1事例を選択し、担当教員の指導を受けて事例研究をまとめる。 ※2. 講評を踏まえて論文に修正を加え、クラスで看護研究集録を作成する。				

授業科目	看護倫理	開講 3年生	1単位	30時間	講師：関田 嘉子	
授業概要	看護の基本となる概念を理解し、看護の位置づけと看護の果たす役割を理解する。					
時間	事前学習	授業計画・授業内容			授業方法	事後学習
2 4		I. 看護倫理 1. 看護倫理とは何か 2. 専門職の倫理			講義	
6 8		3. 倫理的問題へのアプローチ 4. 看護研究の倫理			講義	
10 12		II. 事例分析 1. 小児看護における事例分析			講義 GW	
14 16		2. 精神看護における事例分析			講義 GW	
18 20		3. 母性看護における事例分析			講義 GW	
22 24		4. 成人・老年看護における事例分析			講義 GW	
26 28		5. 地域看護における事例分析			講義 GW	
30		試験・解説				
評価方法	筆記試験 課題レポート 学習態度					
テキスト	系統看護学講座 看護倫理 医学書院 プリント					
参考図書	事例で学ぶケアの倫理 メディカ出版					
備考						

授業科目	地域・在宅看護概論	開講 1年生	1単位	30時間	
授業概要	地域・在宅看護活動の特徴と対象および場について理解し、保健・医療・福祉の連携と看護の役割を考え、地域・在宅看護を実践する基盤を学ぶ。				
時間	事前学習	授業計画・授業内容	授業方法	事後学習	担当講師
2		地域・在宅看護とは 地域・在宅看護が必要とされる社会的背景 在宅看護の変遷	講義		村山 嘉津子
4		地域・在宅看護の定義・目的 地域・在宅看護の機能	講義		
6 8		地域・在宅看護の対象 対象理解—地域・在宅看護の対象者の特徴、 対象の価値観 生活を重視する視点 在宅における家族の理解と支援の重要性	講義		
10 12		地域・在宅看護の基本理念 地域共生社会 アドボカシー ノーマライゼーション エンパワメント プライマリーヘルスケア ヘルスプロモーション	GW 講義		柳田 崇子
14		地域・在宅看護における倫理原則、 地域・在宅看護実践で遭遇する倫理的課題	講義		
16		地域包括ケアシステム 地域包括支援センター	GW 講義		
18		療養移行支援 退院計画と退院指導、継続看護、関係職種との 連携・協働	講義		
20 22 24		社会資源と法律 (地域での生活する人々に必要な社会資源の 活用方法を学ぶ) 高齢者に関する社会資源 (介護保険制度を含む) 障害者・難病に関する社会資源 (障害者総合支援法を含む)	GW 講義		
26 28		くらしの理解	GW 講義		
30		試験・解説			
評価方法	筆記試験 課題レポート 学習態度				
テキスト	新体系 看護学全書 統合分野 在宅看護論				
参考図書	在宅看護論 医学書院、 地域療養を支えるケア MC メディカ出版 医療福祉総合ガイドブック 医学書院、 国民衛生の動向 厚生統計協会				
備考					

授業科目	地域・在宅看護方法論 I	開講 1 年生	1 単位	15 時間	
授業概要	秩父地域の特徴と地域在宅医療の現状を理解する。				
時間	事前学習	授業計画・授業内容	授業方法	事後学習	担当講師
2		秩父地域とは 様々な視点からの秩父 フィールドワークのオリエンテーション	講義		柳田 崇子
4 6		秩父地域とは フィールドワーク（地域の状況、習慣、慣習、行事、地域 にみられる問題点などを探る）	GW		
8		秩父地域とは フィールドワークについての GW	GW		
10		秩父地域とは フィールドワークのグループ発表・まとめ	講義 GW		
12		地域在宅医療について ・地域在宅医療の実際	講義		加藤 寿
14		まとめ	講義		柳田 崇子
15		試験・解説			
評価方法	筆記試験 課題レポート 学習態度				
テキスト	新体系 看護学全書 統合分野 在宅看護論				
参考図書	看護白書 日本看護協会出版会 コミュニティケア 日本看護協会出版会 訪問看護と介護 医学書院 在宅ケアの“キホン”100 日本看護協会出版会 国民衛生の動向 厚生労働統計協会				
備考					

授業科目	地域・在宅看護方法論Ⅱ	開講 2年生	1単位	30時間	講師：柳田 崇子
授業概要	在宅で療養生活をする人々とその家族を理解し、対象の生活状況やその人らしさを尊重した在宅看護を展開するための方法を学ぶ。				
時間	事前学習	授業計画・授業内容		授業方法	事後学習
2		在宅で生活すること（その人らしさ） 地域・在宅看護の特徴、意義、継続看護、在宅看護の場の広がり、チームケア体制		講義	
4 6		看護者の態度と行動 在宅看護の活動を支えるコミュニケーション 信頼関係を形成するプロセス 在宅で看護師必要とされる人の資質		講義	
8		訪問看護の特徴 訪問看護の目的、制度、実施機関等		講義	
10 12		訪問看護ステーションの運営 訪問看護の設置、運営、従事者等		GW	
14		訪問看護の実際 家庭訪問、初回訪問のプロセス		講義	
16 18		家族支援 家族全体のニーズ・家族の介護力に対するアセスメント 介護に対する負担と家族関係の調整や指導、レスパイトケア		講義	
20 22		ケアマネジメント ケアマネジメントの概念と過程、社会資源の利用と活用 在宅チームケア、多職種との連携		講義	
24 26 28		対象別在宅看護 1) 終末期療養者の看護 2) 神経難病療養者の看護 3) 認知症高齢者の看護 4) 重症心身障害児の看護 5) 精神障害者の看護 ※1)～3) 以下の項目についてグループワーク ①在宅療養者の特徴②看護③安全管理④倫理的課題		GW 講義	
30		試験・解説			
評価方法	筆記試験 課題レポート 学習態度				
テキスト	新体系 看護学全書 統合分野 在宅看護論				
参考図書	看護白書 日本看護協会出版会 コミュニティケア 日本看護協会出版会 訪問看護と介護 医学書院 在宅ケアの“キホン”100 日本看護協会出版会 国民衛生の動向 厚生労働統計協会				
備考					

授業科目	地域・在宅看護方法論Ⅲ	開講 2年生	1単位	30時間
授業概要	在宅看護の対象者の特性をふまえ、対象の生活の質の向上を目指し生活の維持・拡大・自立に向けた援助技術が習得できる。			
時間	事前学習	授業計画・授業内容	授業方法	担当講師
2		1. 在宅看護の基本 2. 在宅看護におけるコミュニケーションの特徴	講義	村山 嘉津子 友野 美幸 清水 佳代子
4		3. 在宅看護におけるヘルスアセスメント	講義	
6		4. 療養者への援助技術（日常生活援助・処置） 1) 住まい・生活環境 住宅環境調整、福祉用具の活用	講義	
8		2) 活動と休息 廃用症候群、転倒・転落、睡眠、ADL・IADL、 在宅リハビリテーション	講義	
10		3) 排泄 在宅での排泄における看護技術の特徴 膀胱留置カテーテル、膀胱瘻、浣腸、摘便、ストーマケア	講義	
12		4) 清潔と衣生活 在宅での清潔・衣生活における看護技術の特徴	講義	
14		5) 食事 在宅での食事における看護技術の特徴 在宅中心静脈栄養、在宅経腸栄養	講義	
16		6) 在宅褥瘡ケア	講義	
18		7) 薬物療法と服薬管理	講義	
20 22		8) 在宅酸素療法 9) 在宅人工呼吸療法	講義	
24		10) 在宅での安全性の確保 感染防止 災害時の在宅看護	講義	村山 嘉津子 友野 美幸 清水 佳代子
26 28		5. 在宅ターミナルケア 疼痛管理 在宅での看取り	講義	
30		試験・解説		
評価方法	筆記試験 学習態度			
テキスト	看護実践のための根拠がわかる 在宅看護技術論 メヂカルフレンド社			
参考図書	新体系 看護学全書 地域・在宅看護論 メヂカルフレンド社 系統看護学講座 地域・在宅看護論1 地域・在宅看護の基盤 医学書院 系統看護学講座 地域・在宅看護論2 地域・在宅看護の実践 医学書院			
備考				

授業科目	地域・在宅看護方法論IV	開講 2年生	1単位	15時間	講師：柳田 崇子	
授業概要	訪問看護の看護過程の特徴を理解し、主な状況における在宅看護過程の展開を学ぶ。					
時間	事前学習	授業計画・授業内容			授業方法	事後学習
2		在宅看護過程 在宅看護過程の特徴、構成要素、基本情報収集 アセスメントの視点、展開方法、長期と短期目標、優先順位 住環境・社会資源・経済のアセスメント				
4 6 8		事例を用いた看護過程の展開 問題の明確化 在宅生活を踏まえた問題点のとらえ方				
10 12 14		事例を用いた看護過程の展開 計画立案 計画の妥当性			GW	
15		試験・解説				
評価方法	筆記試験 課題レポート 学習態度					
テキスト	新体系 看護学全書 統合分野 在宅看護論					
参考図書	基礎看護学 成人看護学 老年看護学 家族社会学 精神看護学 実践できる在宅看護技術ガイド 学研					
備考						

授業科目	地域・在宅看護論演習	開講 2年生	1単位	30時間	講師：柳田 崇子
授業概要	秩父地域の医療や在宅看護、地域包括ケアシステムの現状を理解するため、見学や体験を通して学ぶ。				
時間	事前学習	授業計画・授業内容		授業方法	事後学習
2 4		認知症カフェ 「オレンジカフェ」		フィールドワーク	
6 8		地域包括ケアシステム 「ちちぶいきあいフォーラム」		フィールドワーク	
10 12		市民講座		フィールドワーク	
14 16 18		在宅看護における多職種連携 *多職種連携教育(IPE) (理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、社会福祉士) *退院へ向けてのそれぞれの支援の実際、多職種連携について考える。 *意見交換終了後まとめの時間を持ち、気付きや学びを整理する		講義 GW	
20 22		グループごとの発表 まとめ			
24 26		福祉用具について		見学	
28		社会福祉協議会 インフォーマルサポートについて		講義	
30		レポート作成			
評価方法	課題レポート 学習態度				
テキスト	新体系 看護学全書 統合分野 在宅看護論				
参考図書	基礎看護学 成人看護学 老年看護学 家族社会学 精神看護学 実践できる在宅看護技術ガイド 学研				
備考					

授業科目	成人看護学概論	開講	1年生	1単位	30時間	講師：林 宏美	
授業概要	<p>ライフサイクルにおける成人各期の特徴を理解し、それぞれの発達段階をふまえた看護の役割を理解する。</p> <p>成人期における対象の現状と動向を理解し、健康な生活を維持増進するための必要な保健活動を学ぶ。</p>						
時間	事前学習	授業計画・授業内容				授業方法	事後学習
2 4	授業内容 確認	<p>1. 成人看護学の概要</p> <p>1) 成人看護学の理念枠組み 2) 成人期の発達段階・課題</p> <p>3) 成人看護に必要な概念</p>				講義	授業内容を整理する。
6 8		<p>2. 成人期の特徴</p> <p>1) 青年期にある人の特徴 2) 壮年期にある人の特徴</p> <p>3) 向老期にある人の特徴</p>				講義	授業内容を整理する。
10 12 14	看護学概 論確認	<p>3. 成人保健の動向と対策</p> <p>1) 人口の動向 人口構成の変化 年齢区分人口構成の推移</p> <p>2) 平均寿命の推移</p> <p>3) 死亡の動向 死因順位 年齢・性別死因</p> <p>4) 健康障害と疾患の概況</p> <p>4. わが国における生活と健康の特徴</p> <p>1) 経済状況 2) 日常生活状況 (青年期・壮年期・向老期)</p> <p>5. 成人に特有な健康問題の特徴</p> <p>1) 生活習慣に関連する健康障害</p> <p>2) 職業に関連する健康障害</p> <p>3) 生活ストレスに関連する健康障害</p>				講義 GW	社会背景を理解する。 授業内容を整理する。
16 18 20		<p>6. 保健と医療の動向</p> <p>1) 健康増進対策 2) 感染症対策</p> <p>3) 疾病対策・生活習慣病</p>				講義	授業内容を整理する。
22 24		<p>7. 成人看護の機能と役割</p> <p>1) 成人看護の特徴 2) 保健指導および患者教育(指導)</p> <p>3) 患者の権利と擁護</p>				講義	授業内容を整理する。
26 28		<p>8. 健康レベルと看護の方法</p> <p>1) 慢性期の看護の特徴 2) 急性期の看護の特徴</p> <p>3) 回復期の看護の特徴 4) 終末期の看護の特徴</p>				講義 ビデオ	授業内容を整理する。
30		試験・解説					
評価方法	筆記試験 課題レポート 学習態度						
テキスト	系統看護学講座 専門分野 成人看護学 I 成人看護学総論 医学書院						
参考図書	国民衛生の動向 厚生労働統計協会 レビューブック メディックメディア						
備考							

授業科目	成人看護方法論 I (慢性期にある対象の看護)	開講 1 年生	1 単位	3 0 時間	講師：宮下遥奈	
授業概要	<p>1. 慢性疾患が人生に及ぼす影響を理解し、生涯その疾患をコントロールしなければいけない人の看護について理解する。</p> <p>2. 自己管理に向けたセルフケアを促進する看護について理解する。</p>					
時間	事前学習	授業計画・授業内容			授業方法	事後学習
2		慢性疾患をもつ対象の理解、看護の特徴、患者理解のための主要概念			講義	
4 6		内分泌系に障害をもつ対象の看護 甲状腺機能亢進症 患者の特徴、アセスメントの視点、看護の方法			講義 GW	
8 10 12 14		糖尿病 患者の特徴、アセスメントの視点、 食事療法、運動療法、薬物療法に伴う援助について 合併症予防に対する援助について、フットケア、セルフケア確立への援助について			講義	
16 18 20 22		腎・泌尿器系に障害をもつ患者の看護 慢性腎不全 患者の特徴、アセスメントの視点、看護の方法			講義	
24 26		感覚器系に障害のある患者の看護 視力・聴力障害をもつ患者の特徴 視覚・聴覚障害体験演習、看護の方法			講義 演習	
28		技術演習 自己血糖測定、インスリン自己注射 (VTR)			演習	
30		試験・解説				
評価方法	筆記試験 課題レポート 学習態度					
テキスト	新体系 看護学全書 経過別成人看護学3 慢性期看護 メヂカルフレンド社 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の機能と構造1 解剖生理学 医学書院					
参考図書						
備考						

授業科目	成人看護方法論Ⅱ-1（回復期にある対象の看護）	開講 1年生	1単位	30時間	講師：坂本萌子	
授業概要	<p>1.健康障害から健康者へ、また、機能障害が社会復帰するまでの過程において複雑多岐にわたる問題をもつ人の看護について理解する。</p> <p>2.社会復帰を目指し、自立に向かう患者の適応を支援する看護について理解する。</p>					
時間	事前学習	授業計画・授業内容			授業方法	事後学習
2		<p>I. 回復期にある患者（障害を持ち社会復帰する患者）の理解</p> <p>1. 回復期とは（回復期にある患者とは）</p> <p>2. 障害の概念</p> <p>3. 障害受容への援助</p> <p>4. 看護の方法</p>			講義	
4		<p>II. 運動機能に障害をもつ患者の看護</p> <p>A. 骨折時の看護</p>			講義	
6 8 10 12		<p>B. 脊髄損傷患者の看護</p> <p>1. 脊髄損傷患者の特徴</p> <p>2. 患者の状態把握（アセスメントの視点）</p> <p>3. 2次障害・合併症（褥瘡、尿路感染、他）</p> <p>4. 障害の受容過程における患者・家族の心理、社会的問題</p> <p>5. 看護の方法</p>			講義	
14 16		<p>III. 身体機能の一部を喪失した患者の看護</p> <p>1. 人工肛門造設患者の特徴と看護</p>			講義	
18 20		<p>2. 乳房切除術を受けた患者の特徴と看護</p>			講義	
22 24		<p>ストーマケアの実際 （モデル人形）</p>			演習	
26		<p>回復期まとめ：患者指導用パンフレット作成 脊髄損傷患者、人工肛門造設患者、乳房切除術を受けた患者</p>			GW	
28		<p>患者指導用パンフレットグループ発表</p>			GW	
30		<p>試験・解説</p>				
評価方法	<p>筆記試験 課題レポート 学習態度</p>					
テキスト	<p>系統看護学講座 専門分野 成人看護5 消化器、成人看護9 女性生殖器、成人看護10 運動器、成人看護13 眼、成人看護14 耳鼻咽喉頭、系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護</p>					
参考図書						
備考						

授業科目	成人看護方法論Ⅱ-2(急性期にある対象の看護)	開講 2年生	1単位	30時間	講師:宮下 遥奈
授業概要	<p>1.疾患や治療による急激な身体的変化により、身体機能が維持できない状態にある患者の看護について理解する。</p> <p>2.重篤で急激に変化する患者の状態を科学的な視点でアセスメントし、患者の安全、安楽を確保する看護について理解する。</p> <p>3.クリティカルな状況にある患者の家族に対する看護について理解する。</p>				
時間	事前学習	授業計画・授業内容		授業方法	事後学習
2	確認問題 1	1. 急激な身体侵襲により急性期にある患者の看護 1) 急激な健康破綻をきたした人の理解 2) 急激な健康破綻をきたした人の看護		講義	
4 6	確認問題 2	2. 循環器系に障害をもつ患者の看護 1) 急性心筋梗塞の患者の事例を用いて看護の実際を学ぶ 2) 血管内治療を受ける患者の看護		講義	
8 10	確認問題 3	3. 周手術期にある患者の看護 1) 周手術期とは 2) 術前の看護 3) 術後の看護		講義	
12 14 16 18	胃切除術後にダンピング症候群を起こした患者事例	4. 消化器系に障害をもつ患者の看護 1) 胃癌で手術を受ける患者の事例を用いて看護の実際を学ぶ 2) 内視鏡下で手術を受ける患者の看護		講義	
20 22	くも膜下出血のため手術を受けた患者事例	5. 脳神経系に障害をもつ患者の看護 1) クモ膜下出血患者の事例を用いて看護の実際を学ぶ		講義	
24		6. 急性期にある対象の看護のまとめ		講義、DVD	
26 28		7. 周手術期の看護技術 1) 術前の看護技術…呼吸機能訓練の指導、剃毛・臍処置 2) 術後の看護技術…離床の進め方、血栓予防法 3) その他の技術…瞳孔の観察、対光反射の見方 *心電図のとり方		演習	
30		試験・解説			
評価方法	筆記試験 課題レポート 学習態度				
テキスト	系統看護学講座 専門分野 成人看護学 2 呼吸器、成人看護学 3 循環器、成人看護学 5 消化器、成人看護学 7 脳・神経 新体系 看護学全書 経過別成人看護学 2 周術期看護 メヂカルフレンド社 よくわかる周術期看護 学研				
参考図書	周術期看護 インターメディカ				
備考					

授業科目	成人看護方法論Ⅲ (がん患者の看護)	開講 2年生	1単位	30時間	
授業概要	1. 成人期にあるがん患者の特徴を理解する。 2. がんの治療を受ける患者の看護を理解する。 3. 緩和ケアにおける意思決定の支援及び看護の実際を理解する。				
時間	事前学習	授業計画・授業内容	授業方法	事後学習	担当講師
2 4		1. がん患者の看護の基本 1) がん患者の特徴 2) がん患者の家族の特徴 3) がん患者の看護 4) 疼痛緩和の看護 (オピオイド含む)	講義 DVD		岡島 佐知子
6 8		2. 緩和ケアにおけるチーム医療 1) 看取りは最後まで生きる力を支える援助 2) 緩和ケアにおけるコミュニケーションと意思決定支援 3) スピリチュアルケア 4) プロセスに沿ったケアのポイント			加藤 寿
10 12		3. 化学療法を受ける患者の看護 1) 抗癌剤療法の基本 2) 抗癌剤治療中の注意点 3) 抗癌剤副作用への援助 4) 長期的な影響への援助	講義 演習		岡島 佐知子
14		5) 抗癌剤の与薬と管理	講義		清水 智美
16 18		4. 放射線療法を受ける患者の看護 1) 放射線療法の基本 2) 放射線療法中の注意点 3) 放射線療法の副作用への援助 4) 長期的な影響への援助	講義 演習		岡島 佐知子
20 22 24		5. 緩和ケアの実際 1) 疼痛・呼吸困難などの症状の緩和 (演習) 2) シャボンラッピング (演習) 3) リンパマッサージ (演習)	講義 演習		岡島 佐知子
26 28		4) 終末期で苦痛のある人への日常生活援助 (演習)	講義 演習		岡島 佐知子
30		試験・解説			
評価方法	筆記試験 課題レポート 学習態度				
テキスト	系統看護学講座 成人看護学総論 医学書院 系統看護学講座 別巻 がん看護学 医学書院 終末期がん患者の緩和ケア 日本看護協会				
参考図書					
備考					

授業科目	成人看護方法論Ⅳ（事例展開）	開講 2年生	1単位	講師：門平 絵里
授業概要	<p>1.慢性期、回復期、急性期、終末期の各期の状況の変化に伴う対象理解ができる。</p> <p>2.代表的な各系統疾患についてイメージし、グループワークを行うことでその患者に対する必要な看護過程について理解する。</p> <p>3.自発性のある学習態度と方法を理解する。</p>			
時間	事前学習	授業計画・授業内容	授業方法	事後学習
2 4		<p>1.成人看護学の特徴</p> <p>1)成人期にある人々の特徴 成人各期の特徴と発達課題</p> <p>2)アセスメントの視点</p> <p>3)アセスメントに活用する理論</p> <p>2.紙上事例を用いた看護過程の展開</p> <p>2)事例展開</p> <p>事例1. 急性～回復期 胃癌 又は大腸癌</p> <p>事例2. 慢性期 慢性腎不全 又は心不全</p> <p>事例3. 終末期 腹膜播種 又は多発性骨髄腫</p>	<p>講義</p> <p>個人ワーク</p> <p>GW</p>	
6 8		<p>アセスメント・関連図の合わせ</p> <p>資料作成</p>	<p>講義</p> <p>GW</p>	
10 12		<p>グループ発表・まとめ</p>	<p>GW</p>	
14 16 18 20		<p>看護計画立案</p>	<p>個人ワーク</p> <p>GW</p>	
22 24		<p>看護計画の合わせ、資料作成</p>	<p>個人ワーク</p> <p>GW</p>	
26 28		<p>グループ発表・まとめ</p>	<p>講義</p> <p>個人ワーク</p> <p>GW</p>	
30		<p>認定試験、解説</p>		
評価方法	<p>筆記試験 課題レポート 学習態度</p>			
テキスト	<p>成人看護方法論Ⅰ～Ⅲで使用したすべて</p>			
参考図書				
備考				

授業科目	老年看護学概論	開講 1年生	1単位	30時間	講師：柿間真由美	
授業概要	1. 老年看護学の概念を理解する。 2. 老年者の特徴を理解する。 3. 高齢社会の保健医療の動向と老年者への保健活動のあり方を理解する。 4. 老年看護の役割と機能を理解する。					
時間	事前学習	授業計画・授業内容			授業内容	事後学習
2 4 6		I. 高齢者の理解 高齢者の身体的特徴、知的機能・認知機能の特徴、心理的特徴、ライフサイクルと発達課題			講義	レポート
8		II. 老年看護とは 老年看護のなりたち、老年看護の役割、老年看護を支える理論			講義	
10 12		III. 高齢者を取り巻く保健医療福祉 高齢者の生活、高齢者を支える保健医療福祉制度 多職種連携による高齢者ケア、高齢者の権利擁護			講義	
14 16		III. 経過別にみた老年看護 高齢者のヘルスプロモーション、急性期における看護 リハビリテーション看護、慢性期における看護、終末期看護			講義	
18 20		IV. 地域における老年看護 退院支援、在宅看護、施設看護、介護する家族への看護			講義	
					GW	
22 24		V. 高齢者特有のリスクマネジメント 高齢者における医療安全、高齢者における災害看護			講義	
26 28		高齢者体験（演習）				レポート
30		試験・解説				
評価方法	筆記試験 課題レポート 学習態度					
テキスト	新体系 看護学全書 老年看護学 I 老年看護学概論・老年保健 メヂカルフレンド社					
参考図書						
備考						

授業科目	老年看護方法論 I	開講 1年生	1単位	15時間	講師：飯塚 弘江	
授業概要	1. 高齢者への看護技術の特徴を理解する。 2. 高齢者への基本技術及びアセスメント技術を理解する。					
時間	事前学習	授業計画・授業内容			授業方法	事後学習
2		高齢者への看護技術の特徴 1) 高齢者の健康問題 2) 認知症について 3) 認知症を持つ高齢者に対する急性期看護 4) 高齢者に適用する看護技術の活用と特徴 ・看護技術の活用、 ・高齢者の QOL 向上を支援する技術 ・安全性・安楽性・効率性を旨とする技術 ・高齢者の自立とセルフケアを支援する技術			講義	
4 6 8		高齢者のアセスメントのための看護技術 1) アセスメントとは何か 2) アセスメントの課題 ・ツール適用の限界性 ・高齢者から情報収集する困難性 3) アセスメントの展開 ・アセスメントの手順 ・インタビュー法（面接技法）			講義	
10 12 14		高齢者への基本技術 1) コミュニケーションを高める看護後術 2) エンパワーメントを高める看護技術 3) 介護者・家族への対応技術 演習			講義 演習	
15		試験				
評価方法	筆記試験 課題レポート 学習態度					
テキスト	看護実践のための根拠がわかる老年看護技術 メヂカルフレンド社					
参考図書						
備考						

授業科目	老年看護方法論Ⅱ	開講 1年生	1単位	30時間	講師：山岸 成子	
授業概要	1. 老年者の生活を援助する看護技術を理解する。 2. 特徴的な症状を持つ老年者への看護技術を理解する。					
時間	事前学習	授業計画・授業内容			授業方法	事後学習
2 4		生活を援助する看護技術 ・経口摂取を促す看護技術 ・排泄の自立への看護技術 ・良眠を促す技術			講義	
6 8		生活を援助する看護技術 ・清潔・身だしなみを促す技術 ・活動を促す技術 ・リラックスのための技術			講義	
10 12		特徴的な症状を持つ高齢者への看護技術 1. 感覚機能の変調に対する技術（搔痒感含む） 2. 循環器機能の変調に対する技術：脱水、冷え性			講義	
14 16		3. 感染に対する技術 4. 転倒・転落に対する技術			講義	
18 20 22		5. 尿失禁に対する看護技術 6. 嚥下障害に対する技術 7. うつ症状に対する看護技術			講義	
24 26		8. 認知症に対する技術 9. 寝たきりに対する技術			講義	
28		演習 嚥下障害に対するケア 寝たきりに対するケア			演習	
30		試験・解説				
評価方法	筆記試験 課題レポート 学習態度					
テキスト	看護実践のための根拠がわかる老年看護技術 メヂカルフレンド社					
参考図書						
備考						

授業科目	老年看護方法論Ⅲ	開講 2 年生	1 単位	30 時間	講師：富田可子
授業概要	個別性を尊重した看護過程の展開ができる。 老年者の生活の場に合わせた看護過程の展開ができる。				
時間	事前学習	授業計画・授業内容	授業方法	事後学習	
2	基礎看護過程 老年概論 方法論	「老年看護方法論Ⅲ」目的確認 老年者の理解	講義 GW	授業内容を整理する	
4		認知症サポーター養成講座 講師：秩父市秩父地域包括支援センター	講義	授業内容を整理する	
6 8		老年者の過ごしてきた時代背景を知る	GW		
10 12		高齢者のフィジカルアセスメント 高齢者の日常生活を支える援助のポイント 高齢者に関するアセスメントスケール	GW		
14 16	看護過程 個人ワーク	事例検討 情報収集・整理	講義		
18 20	看護過程 個人ワーク	情報の分析・統合 関連図・問題の明確化	講義		
22 24 26	看護過程 個人ワーク	看護計画立案 看護計画検討・発表	GW		
28		老年看護方法論Ⅲまとめ 回想療法	講義		
30		試験・解説			
評価方法	筆記試験 レポート 学習態度				
テキスト	新体系 看護学全書 老年看護学1 メヂカルフレンド 実践のための根拠がわかる老年看護技術 メヂカルフレンド プリント				
参考図書	看護がみえる vol.1 基礎看護技術 vol.2 臨床看護技術 メディックメディア 回想法の実際 誠信書房				
備考					

授業科目	小児看護学概論	開講 1年生	1単位	15時間	講師：扇原五百恵	
授業概要	小児看護の理念や特徴および小児と家族を取り巻く環境や問題について学ぶ。また、小児各期の成長発達段階の特徴を理解し、成長発達を促すための看護の役割を学ぶ。					
時間	事前学習	授業計画・授業内容			授業方法	事後学習
2	小児を表す用語	I. 小児看護の概念 1. 小児看護とは 1) 小児看護の対象・目的 2) 小児医療・小児看護の変遷 3) 子どもの権利			講義	
4 6 8		II. 子どもの成長と発達の基本 1. 成長発達の原則 1) 一般的原則 2) 成長発達に影響する因子 2. 形態的・機能的発達 3. 心理社会的発達 1) 認知 2) 情緒 3) 社会性・コミュニケーション 4) 遊び 5) 発達理論			講義 DVD	
10 12	「人間生活と環境」「家族社会学」の復習	III. 子どもを取り巻く様々な状況 1. 環境 2. 社会 1) 子どもと嘉造に関する諸統計 2) 家族の多様化 3) 虐待 4) ヤングケアラー			講義	。
14	個人年表作成	IV. 小児看護の役割 1. 小児看護の課題 1) 疾病構造の変化と小児看護 2) 社会の変化と小児看護 2. 小児の看護師の役割 1) 小児看護の特徴 2) 小児の看護師に求められるもの 3. 個人年表の振り返り			講義	
15		試験・解説				
評価方法	筆記試験 課題レポート 学習態度					
テキスト	系統看護学講座 小児看護学1 小児看護学概論 医学書院 系統看護学講座 小児看護学2 小児臨床看護各論 医学書院					
参考図書	系統看護学講座 専門分野I 看護学概論 医学書院 看護師・看護学生のためのレビューブック メディックメディア					
備考						

授業科目	小児看護方法論 I	開講 2年生	1単位	30時間	講師：扇原五百恵
授業概要	小児保健活動の現状を理解し、小児の健康な生活の字理字過程への援助のあり方を学ぶ。				
時間	事前学習	授業計画・授業内容		授業方法	事後学習
2 4		1. 小児の成長発達と健康評価 1) 乳幼児 2) 学童期 3) 思春期 4) 成長発達評価方法		講義 DVD	
6 8 10		2. 成長発達の生理的側面 1) 呼吸・循環・体温 2) 消化 3) 啼泣・表情 4) 内分泌 5) 免疫		講義 DVD	課題プリント
12 14 16	演習内容 学習	3. 小児の日常生活と養護 1) 生活としつけ 2) 栄養 3) 調乳・授乳と排気 4) 離乳食介助 5) おむつ交換（技術テスト） 6) だっこ（技術テスト） 7) 清拭、座浴		講義 DVD 演習	演習記録
18 20		8) 遊び（手遊びうた、読み聞かせ） 9) 小児の事故と安全対策		講義 DVD	
22 24		4. 小児期の日常生活習慣指導（1歳～学童前期事例） 集団指導計画立案		GW	
26		4. 小児期の日常生活習慣指導：集団指導実施（発表）		GW	
28	課題プリント	5. 予防接種 6. 小児保健活動		講義	
30		試験・解説			
評価方法	筆記試験 課題 学習態度				
テキスト	系統看護学講座 小児看護学1 小児看護学概論 医学書院 写真でわかる小児看護技術 インターメディカ				
参考図書	看護師・看護学生のためのレビューブック メディックメディア				
備考					

授業科目	小児看護方法論Ⅱ（小児と健康障害）	開講 2年生	1単位	30時間	
授業概要	健康障害をもった小児とその家族に必要な看護の方法について理解する。				
時間	事前学習	授業計画・授業内容	授業方法	事後学習	担当講師
2 4 6		1. 小児の健康障害 1) 小児と病気：予防接種 2) 先天異常：先天性代謝異常症、低出生体重児（呼吸窮迫症候群、未熟児網膜症）、二分脊椎、先天性股関節脱臼、水頭症、低身長、ファロー四徴症、VSD 3) 小児期感染症：麻疹、風疹、水痘、ムンプス、突発性発疹、百日咳、溶連菌感染症、化膿性髄膜炎、病原性大腸菌感染症、ロタウイルス感染症			猪野直美
8 10		4) 呼吸器・アレルギー疾患（気管支喘息、紫斑病、アトピー性皮膚炎） 5) 消化器疾患（先天性胆道閉鎖症、肥厚性幽門狭窄症、ヒルシュスプリング病、鎖肛、腸重積症） 6) 泌尿器疾患（ネフローゼ症候群、急性腎炎） 7) 悪性腫瘍（白血病、神経芽細胞腫、再生不良性貧血）			
12 14		8) 小児期にみられる疾患・症状（小児糖尿病、川崎病、てんかん、けいれん、脳性まひ、注意欠如・多動症、自閉スペクトラム症、熱傷、脱水、虐待）			
16		2. 病気や入院が子どもと家族に与える影響とその看護 1) 病院環境とプレパレーション 2) 病気や入院が子どもと家族に与える影響 3) 病気になった子どもと家族の看護			扇原五百恵
18	小児糖尿病 麻疹	3. さまざまな状況にある子どもと家族への看護 1) 外来・入院及び活動制限が必要な子どもと家族	講義 DVD		
20	ダウン症、 口唇口蓋裂	2) 先天的な問題のある子どもと家族 3) ハイリスク新生児と家族 隔離が必要な子どもと家族	講義		
22	気管支喘息	4) 周手術期・急性期にある子どもと家族	DVD		
24	骨腫瘍	5) 慢性期・終末期および痛みのある子どもと家族	講義		
26	指定感 染症	6) 在宅にある子どもと家族 災害を受けた子どもと家族 7) 学校における看護	講義		
28		小児看護方法論Ⅱまとめ 練習問題	講義		
30		試験・解説			
評価方法	筆記試験 課題レポート 学習態度				
テキスト	系統看護学講座 小児看護学1 小児看護学概論 医学書院 系統看護学講座 小児看護学2 小児臨床看護各論 医学書院				
参考図書	看護師・看護学生のためのレビューブック メディックメディア				
備考					

授業科目	小児看護方法論Ⅲ	開講 2年生	1単位	30時間	講師：扇原五百恵	
授業概要	小児看護に必要な基本的看護技術と看護過程の展開について理解する。					
時間	事前学習	授業計画・授業内容			授業方法	事後学習
2 4 6 8 10 12	事例の疾患 及び看護調 べ DVD 視聴	事例を用いた看護過程の展開 小児看護過程の特徴 小児アセスメントのポイント アセスメント 関連図 看護計画 看護計画検討会 小児看護過程まとめ			講義 GW	
14 16 18 20		救急救命処置が必要な子どもと家族（日赤幼児安全講習） 子どもに多い事故 主な誤飲物質と処置 熱傷と処置 溺水と処置 子どもの一次救命処置 乳幼児の意識レベル			VTR	
22 24 26 28		検査や処置を受ける子どもと家族への看護 発達に応じたプレパレーション（キワニスドール使用） 安全・安楽への看護 バイタルサインの測定 身体計測 採血・採尿・穿刺・与薬・吸引・酸素療法・経管栄養 （ネブライザー吸入幼児向け補助具作成） 対象・状況に応じた遊び・保健指導 遊びの工夫 指導の工夫 小児看護方法論Ⅰまとめ			演習	
30		試験・解説				
評価方法	筆記試験 課題レポート 学習態度					
テキスト	系統看護学講座 小児看護学 1 小児看護学概論 医学書院 系統看護学講座 小児看護学 2 小児臨床看護各論 医学書院 写真でわかる小児看護技術 インターメディカ					
参考図書	看護師・看護学生のためのレビューブック メディックメディア					
備考						

授業科目	母性看護学概論	開講 1年生	1単位	15時間	講師：宮原まり	
授業概要	母性の概念と、母性看護の対象および特徴を理解し、母性看護の意義と役割を学ぶ。					
時間	事前学習	授業計画・授業内容			授業方法	事後学習
2 4		I. 母性看護の基盤となる概念 1. 母性・父性とは 2. 母子関係と家族発達 3. セクシュアリティ 4. リプロダクティブヘルス/ライツ 5. ヘルスプロモーション 6. 母性看護のあり方 7. 母性看護における倫理 8. 母性看護における安全・事故防止			講義	
6		II. 母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状 1. 母性看護の歴史的変遷と現状 2. 母性看護の対象を取り巻く環境			講義	
8 10		III. 母性看護の対象理解 1. 女性のからだと性周期 2. 妊娠と胎児の性分化 IV. ライフサイクル各期における看護 1. ライフサイクルにおける女性の健康と看護の必要性 2. 思春期の健康と看護 3. 成熟期の健康と看護 4. 更年期の健康と看護 5. 老年期の健康と看護			講義 GW	
12 14		V. リプロダクティブヘルス 1. 家族計画 2. 性感染症とその予防 3. 人工妊娠中絶とその看護 4. 喫煙女性の健康と看護 5. 性暴力を受けた女性に対する看護 6. HIVに感染した女性に対する看護			講義 GW	
15		試験・解説				
評価方法	筆記試験 レポート 学習態度					
テキスト	系統看護学講座 母性看護学1 母性看護学概論 医学書院					
参考図書	村本淳子・森明子編著 母性看護学概論 医歯薬出版株式会社 氏家幸子監修 母子看護学原論 廣川書店 新体系看護学30 母性看護学① メジカルフレンド社 国民衛生の動向 厚生統計協会 系統看護学講座 専門基礎9 医学書院					
備考						

授業科目	母性看護方法論 I	開講	2年生	1単位	30時間
授業概要	周産期にある妊娠・分娩・産褥の一連の過程から新生児に至るまでの生理的変化と異常について理解し、看護に必要な基礎知識を学ぶ。				
時間	事前学習	授業計画・授業内容	授業方法	事後学習	担当講師
2 4		妊娠期の身体的特性 妊娠の生理、胎児の発育とその生理、胎盤の形成、胎盤と羊水の生理、胎児の生理、胎児と子宮および骨盤との関係、母体の生理的変化 (モデル人形) 妊娠期の心理・社会的変化 妊娠期の心理・社会的特性	講義		宮原まり
6 8		分娩の要素・分娩の経過 分娩の3要素、分娩の機序分娩の進行と産婦の身体的変化、産婦の心理・社会的変化 (モデル人形)	講義		
10 12		新生児の生理 新生児の生理、新生児の機能	講義		
14		産褥経過 産褥期の身体的変化、産褥期の心理・社会的変化	講義		
16 18		妊娠の異常と看護 合併症妊娠、異常妊娠	講義		岩田 睦
20 22		分娩の異常と看護 異常分娩	講義		
24		新生児の異常と看護 新生児仮死、分娩外傷、低出生体重児	講義		城谷誉子
26 28		産褥の異常と看護 子宮復古不全、産褥熱、悪露停留症、乳腺炎 産褥血栓性静脈炎	講義		
30		試験・解説			
評価方法	筆記試験 レポート 学習態度				
テキスト	系統看護学講座 母性看護学1 母性看護学概論 医学書院 系統看護学講座 母性看護学2 母性看護学各論 医学書院				
参考図書	医療情報科学研究所 病気がみえる vol.10 産科 メディックメディア				
備考					

授業科目	母性看護方法論Ⅱ	開講	2年生	1単位	30時間	講師：林 宏美	
授業概要	妊婦・産婦・褥婦および新生児の看護の方法について理解する。						
時間	事前学習	授業計画・授業内容				授業方法	事後学習
2 4 6 8		妊娠期における看護 妊婦のアセスメント、胎児のアセスメント、妊婦と家族の看護 親になるための準備教育				講義	
10 12		分娩期における看護 産婦・胎児・家族のアセスメント、分娩第1期の看護 分娩第2～4期の看護				講義	
14 16		新生児における看護 新生児のアセスメント、出生直後の看護、出生後から退院までの看護				講義	
18 20		産褥期における看護 褥婦のアセスメント、身体機能回復および進行性変化への看護 児との関係確立への看護、育児技術に関わる看護				講義	
22		代表的な分娩・産褥異常と看護 帝王切開、精神障害、児を亡くした褥婦				講義	
24 26 28		代表的な妊娠・分娩・産褥・出生後の異常と看護 遺伝相談、不妊治療と看護、妊娠中のマイナートラブルと保健指導、切迫流・早産妊婦の看護、糖尿病妊婦の看護、妊娠高血圧症候群妊婦の看護、多胎妊婦の看護、低出生体重児の看護、高ビリルビン血症児の看護				GW	
30		試験・解説					
評価方法	筆記試験 課題レポート 学習態度						
テキスト	系統看護学講座 母性看護学1 母性看護学概論 医学書院 系統看護学講座 母性看護学2 母性看護学各論 医学書院						
参考図書							
備考							

授業科目	母性看護方法論Ⅲ	開講 2年生	1単位	30時間	講師：林 宏美	
授業概要	妊婦・産婦・褥婦および新生児に必要な看護技術と、看護過程の展開について理解する。					
時間	事前学習	授業計画・授業内容			授業方法	事後学習
2		母性看護に必要な看護技術 ・妊婦健康診査 子宮底測定、レオポルド触診法 (シミュレーター)			講義 演習	
4 6	沐浴の方法	・新生児の看護技術 沐浴 (モデル人形)			演習	
8 10 12 14		・褥婦の看護に関わる看護技術 褥婦のセルフケアを高める保健指導			GW	
16 18 20 22 24 26 28		事例を用いた看護過程の展開 ・母性看護における看護過程 ・褥婦のアセスメントと看護計画 ・新生児のアセスメントと看護計画			GW	
30		試験・解説				
評価方法	筆記試験 課題レポート 学習態度					
テキスト	系統看護学講座 母性看護学 1 母性看護学概論 医学書院 系統看護学講座 母性看護学 2 母性看護学各論 医学書院					
参考図書						
備考						

授業科目	精神看護学概論	開講 1年生	1単位	15時間	講師：坂本 萌子	
授業概要	こころの健康についての理解を深め、精神看護の目的・対象・看護の機能と役割について理解し、援助論の導入となるよう授業を展開する。					
時間	事前学習	授業計画・授業内容			授業方法	事後学習
2		精神障害についての基本的な考え方 こころの健康とは 障害のとらえ方 社会の変化とメンタルヘルス 精神障害のきっかけとプロセス 対象理解の難しさ 精神障害とともに生きるということ			講義	
4		人間のこころと行動 人のこころのさまざまな理解 (こころをみる看護の視点)			講義	
6		こころと環境 (ストレスとストレッサー、コーピング、こころの防衛機制 リカバリー)			講義 GW	防衛機制について事例を考える。
8 10		人格の発達と情緒体験 対象関係論の立場から 対象との出会い 1) 情緒体験の始まり 2) 初めての挫折体験 3) 愛と憎しみ 母子関係の発達 (母親を心の安全基地として、一人である能力 感情を受け入れる母親)			講義	
12 14	精神医療 の歴史	精神医療の歴史と看護 古代から中世までの精神医療 近代の精神医療 20世紀の精神医療			講義 GW	
15		試験・解説				
評価方法		筆記試験 課題レポート 学習態度				
テキスト		ナーシング・グラフィカ 精神看護学① 情緒発達と精神看護の基本				
参考図書						
備考						

授業科目	精神看護方法論 I	開講 2年生	1単位	15時間	講師： 坂本 萌子	
授業概要	人生各期の発達課題と危機、現代における社会問題とところについて学ぶ。					
時間	事前学習	授業計画・授業内容			授業方法	事後学習
2 4		人生各期の発達課題：ライフサイクルとメンタルヘルス ライフサイクルとストレス ライフサイクル各期における特徴と危機			講義	
6		現代社会とところ 現代社会の特徴 現代社会とところの問題 現代社会と親 現代社会と子ども ストレスに対する身体的反応 (心身症の病態、性格傾向、看護)			講義	
8		家族とその支援 家族とは何か 家族を見る視点			講義	
10		家族の課題 精神疾患と家族 1) 精神疾患に罹患した患者とその家族の関係 2) 家族によくみられる状況 3) 家族の役割と家族の回復			講義	GW 課題
12 14		精神疾患患者と家族が利用できる社会資源 グループ発表			GW	
15		試験・解説				
評価方法	筆記試験 課題レポート 学習態度					
テキスト	ナーシング・グラフィカ 精神看護学① 情緒発達と精神看護の基本					
参考図書						
備考						

授業科目	精神看護方法論Ⅱ		開講	2年生	1単位	30時間
授業概要	1. 精神医療をめぐる法律と精神疾患の基礎的知識を学ぶ。 2. 精神に障害を持つ対象の看護に必要な基礎的知識・技術・看護について学ぶ。					
時間	事前学習	授業計画・授業内容	授業方法	事後学習	担当講師	
2 4 6		精神疾患の理解と治療 脳の仕組みと精神機能 臨床検査、心理検査、薬物療法、精神療法	講義		吉川信一郎	
8		精神疾患・精神症状 精神疾患の基礎知識 (精神疾患の概念、ICD-10 および DSM-5、治療のための診断)				
10 12 14		主な疾患（器質性精神障害、統合失調症、気分障害 パーソナリティ障害、など）				
16 18		入院から社会生活の継続までの看護 精神疾患患者の理解 安全管理	講義 GW		富田 可子	
20 22		急性期から回復期、慢性期の看護 (退院後の生活支援)	講義 GW			
22 24		症状アセスメントとケアプラン (せん妄、抑うつ、興奮状態、拒絶、など)	講義 GW			
26 28		疾患に応じた看護 1) 幻聴・妄想のある人の看護 2) うつ病の症状と看護 3) 双極性障害の看護 4) アルコール依存症の看護 5) 境界性パーソナリティ障害と看護	講義 GW			
30		試験・解説				
評価方法	筆記試験 課題レポート 学習態度					
テキスト	精神看護学Ⅱ 精神臨床看護学第6版 スーヴェルヒロカワ					
参考図書						
備考						

授業科目	精神看護方法論Ⅲ	開講 2年生	1単位	30時間	講師：富田 可子
授業概要	1. 患者―看護者関係から客観的思考方法を学ぶ。 2. オレム・アンダーウッドによるセルフケア理論を学び、理論に沿った事例の展開を行う。				
時間	事前学習	授業計画・授業内容		授業方法	事後学習
2 4		精神看護に用いる理論・モデル 再構成（自己の振り返り） 交流会について		講義 GW	交流会内容の 決定
6 8		患者―看護者関係 作業所との交流会		交流会	再構成完成
10 12		再構成グループワーク 客観的思考の実施 再構成の書き方の振り返り、分析方法		GW	
14		セルフケア理論 1) セルフケアの考え方 2) オレムのセルフケア看護モデル 3) オレムの一般看護理論		講義	
16		オレム・アンダーウッド理論 セルフケア看護モデル 一般看護理論の操作化		講義	
18 20		患者の全体像を捉えるための情報整理 アセスメントと問題の明確化 1) アセスメント 2) 関連図		講義	
22 24		事例展開「統合失調症」 1) アセスメント作成		GW	アセスメント 完成
26		2) アセスメント解説 3) 関連図作成		講義 自己 学習	関連図完成
28		4) 関連図解説 5) 問題の明確化		講義	
30		試験・解説			
評価方法	筆記試験 課題レポート 学習態度				
テキスト	精神看護学Ⅱ 精神臨床看護学 ニューヴェルヒロカワ				
参考図書	ドロセア・E・オレム著、小野寺杜紀訳 看護実践における基本概念 第4版 医学書院 南裕子著 心ころを癒す実践オレム・アンダーウッド理論 講談社				
備考					

授業科目	国際看護・災害看護		開講 2年生	1単位	30時間
授業概要	1. 国際社会において、広い視野に基づき看護師としての諸外国との協力を考える。 2. 災害時における看護の役割を理解し、緊急時必要な基礎的看護技術を習得する。				
時間	事前学習	授業計画・授業内容	授業方法	事後学習	担当講師
2 4		<ul style="list-style-type: none"> ・国際看護とは何か ・今なぜ国際看護学を学ぶのか ・異文化看護の実際、個別的アプローチ ・国際看護学における集団的アプローチ ・国際機関について ・国際看護の対象・国際看護活動に必要とされる能力 ・国際看護活動の実際 	講義		増田康予
6		<ul style="list-style-type: none"> ・災害とは、 災害医療とは ・救急看護と災害看護の違い ・トリアージについて 	講義		及川 勝
8		<ul style="list-style-type: none"> ・トリアージの実際 ・基幹病院、DMATについて ・埼玉県の実情など 	講義		
10		<ul style="list-style-type: none"> ・心のケア・心のケアトリアージ ・援助者のストレスについて 	講義		樺澤朋子
12 14 16 18 20		赤十字救急法講習（基礎講習） <ul style="list-style-type: none"> ・赤十字について 赤十字救急法について、手当の基本、一時救命処置（BLS） 	講義		赤十字 指導員
		<ul style="list-style-type: none"> ・手当の基本 観察～保温「意識あり」の観察→保温 体位の変換 回復体位 ・一時救命処置 ー心肺蘇生 傷病者発見～AED 到着直前まで～AED使用（一連） ・気道内異物の除去（デモのみ） <実技検定・学科検定・アンケート記入>	実技		
		赤十字救急法講習（短期講習） <ul style="list-style-type: none"> ・けがの手当て 包帯使用法 三角巾包帯 	検定		
22 24 26 28		災害救護場面の実際	演習		及川 勝 樺澤朋子
30		試験・解説			
評価方法	筆記試験 実技検定 学習態度				
テキスト	新体系看護学全書 39 看護の統合と実践③ 国際看護学 メヂカルフレンド社 災害看護 心得ておきたい基本的な知識 南山堂 赤十字救急法基礎講習テキスト				
参考図書					
備考					

授業科目	医療安全	開講 2年生	1単位	30時間	講師：新井 寛子
授業概要	医療活動の現状を理解し、医療安全の基礎的知識を習得する。				
時間	事前学習	授業計画・授業内容		授業方法	事後学習
2	統合分野の意味を確認 授業内容確認	1. 医療安全と看護の責務 1) 医療事故の概要 2) 看護業務		講義	授業内容を整理する。
4		2. 医療機関における安全対策 1) 組織としての取り組み		講義	組織・病院組織について整理する。
6		3. 事故発生メカニズムと防止対策 1) 事故発生メカニズム 2) 事故分析・事故対策		講義	授業内容を整理する。
8	看護業務を確認	4. 看護における安全対策 1) 看護業務と事故発生		講義	授業内容を整理する。
10 12	3. 事故発生メカニズムと防止対策	5. 事故の予防と事故分析 1) 事故発生要因 2) 事故分析 インシデントレポート SHELモデル分析 4M-4E方式分析		講義 GW	事故分析について整理する。
14 16 18 20	看護業務における事故種類を確認	6. 看護業務における事故の種類と防止対策 1) 患者取り違い 2) 転倒転落 3) チューブ類 4) 誤薬 5) 針刺し 6) 医療機器		演習	事故原因と対策を整理する。
22	2・3 授業を確認	7. 医療事故対応 1) 医療事故発生時の初期対応		講義	医療現場の事故を整理する。
24 26	分析場面を確認	8. 医療現場における危険予知訓練(医療 KYT)と事故分析の実際 1) 誤嚥 2) 移動		講義 GW	GW 意見交換を整理する。
28	実習要項 基礎 I・II	9. 看護学生の実習と安全 1) 臨地実習の法的責任 2) 実習中の事故予防対策		講義	授業内容を整理する。
30		試験・解説			
評価方法	筆記試験 課題レポート 学習態度				
テキスト	ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践② 医療安全 メディカ出版				
参考図書	系統看護学講座 専門分野 I 看護学概論 医学書院 系統看護学講座 統合分野 看護管理 医学書院 写真でわかる実習で使える看護技術 インターメディカ 新体系看護学全書 基礎看護学 基礎看護技術 I・II メヂカルフレンド社 よくわかる看護者の倫理綱領 照林社				
備考					

授業科目	看護管理	開講 3年生	1単位	30時間	講師：小林 比呂子 平山 みち子	
授業概要	組織の仕組み及び看護管理について理解し、看護師としてメンバーシップを発揮できる能力を習得する。					
時間	事前学習	授業計画・授業内容			授業方法	事後学習
2	看護師の定義	1. 看護管理とは 1) 看護管理の定義			講義	授業内容を整理する。
4	看護覚え書き：第3章 小管理	2) 看護職の機能と役割 F.ナイチンゲール「看護覚え書き」 第3章 小管理			GW	授業内容を整理する。
6 8	医療安全	2. 看護ケアのマネジメント 1) 組織とチーム医療 2) 看護業務 3) 患者の権利の尊重 4) 安全管理 5) 情報			講義 ビデオ	授業内容を整理する。
10 12 14 16		3. 看護サービスのマネジメント 1) 看護の組織化 2) 人材管理 3) 物的資源管理 4) 情報管理 5) 安全管理 6) 看護サービスの評価			講義 GW	授業内容を整理する。
18 20		4. マネジメントに必要な知識と技術 1) 組織とマネジメント 2) メンバーシップとリーダーシップ			講義 GW	授業内容を整理する。
22 24	コミュニケーションの技術	3) コミュニケーション 4) 看護職と生涯学習			講義 GW	授業内容を整理する。
26 28	看護者の倫理綱領	5. 看護に関する法律・制度 1) 保健師助産師看護師法 2) 看護倫理			講義 GW	授業内容を整理する。
30		試験・解説				
評価方法	筆記試験 課題レポート 学習態度					
テキスト	系統看護学講座 看護の統合と実践1 看護管理 医学書院					
参考図書	系統看護学講座 基礎看護学1 看護学概論 医学書院 F.ナイチンゲール 看護覚え書き 現代社 ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践② 医療安全 メディカ出版 よくわかる看護者の倫理綱領 照林社					
備考						

授業科目	臨床看護総合	開講 3年生	1単位	30時間	講師：門平 絵里
授業概要	既習した知識や技術を臨床の実務に対応できるよう演習を通して統合する。				
時間	事前学習	授業計画・授業内容		授業方法	事後学習
2		1. 危険予知トレーニング (KYT) の実践 ・ KYT とは ・ KYT の実践		講義 GW	
4 6 8		1. 危険予知トレーニング (KYT) の実践 ・ グループで考えた KYT の実践 事例を通してリスクや対策、行動目標、指さし呼称をグループごとにまとめ、クラス全体で学びを共有する。		GW	
10 12	与薬の技術の復習	2. 注射に関する看護技術 ・ 皮下注射、筋肉注射、点滴静脈内注射、採血の看護技術		演習	
14 16 18 20		2. 注射に関する看護技術 ・ グループ毎に演習に向けて練習を実施する		演習	実技試験に向け技術練習
22 24		2. 注射に関する看護技術 ・ 皮下注射 (シュミレーター使用) テスト		演習	
26 28		2. 注射に関する看護技術 ・ 静脈血採血 (シュミレーター使用) テスト		演習	
30		試験・解説			
評価方法	筆記試験 80 点 実技試験 20 点 (静脈血採血 10 点、皮下注射実技試験 10 点) 学習態度				
テキスト	看護技術に関するテキスト全般 看護技術がみえる vol.2 臨床看護技術 メディックメディア				
参考図書					
備考					